

## 環境に関すること リサイクル・プラスチック回収・食品ロスについて

### 1. 目的

持続可能な循環型都市実現のため、これまでに分別排出の徹底やリサイクル品目の拡充など進めていますが、近年では、資源化率は、横ばい傾向となっています。令和4年4月にプラスチック資源循環促進法が施行され、製品プラスチックへの対応を含め、更なるリサイクル推進を図り、循環型社会の実現に向けて取り組んでいく必要があります。また、大量消費型のライフスタイルを見直し、ライフサイクル全体における環境配慮を進める必要性が高まっています。食品ロスについては、区内で多量の食品が廃棄されている実態やフードマイレージを意識した地産地消を踏まえ、飲食店や小売業などの事業者や区民と一体となって削減に取り組むことが求められています。

### 2. これまでの主な取り組み

- ・資源回収ステーション回収
- ・集団回収
- ・拠点回収
- ・資源リサイクル品目の拡充
- ・SHINAGAWA “もったいない” プロジェクト（もったいない推進店、フードドライブ等）

### 3. 区民への啓発

- ・環境学習交流施設（エコルとごし）での環境講座の開催、イベント、展示
- ・資源・ごみの分け方・出し方などのリーフレットの発行および全戸配布
- ・ごみ・リサイクル通信
- ・リサイクル情報紙「くるくる」
- ・環境学習
- ・出前講座
- ・ごみ・資源追っかけ隊

### 4. 今後の方向性

地球温暖化対策をはじめ、生活環境の向上に寄与するさまざまな取組を進め、限りある資源を無駄なく効率的に利用するため、持続可能な循環型都市実現に向け、さらなる食品ロス削減などによるごみの発生抑制や資源化に取り組んでいく必要がある。

# リサイクル・プラスチック回収について

## 1 資源ステーション回収

- ①事業目的 資源の有効利用とごみ減量を図るため、区内約10,000カ所の資源回収ステーション（集積所）で、資源回収を実施しています。
- ②事業概要 資源回収品目は、古紙、飲食用びん、飲食用缶、ペットボトル、乾電池、プラスチック製容器包装、蛍光灯、水銀体温計・水銀血圧計等の8品目12種類で、事業委託による週1回の回収を行っています。  
（事業開始：平成9年6月 ※平成12年4月に東京都から事業移管）

③実績 資源回収事業による回収量 単位：kg

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
古紙	7,501,960	7,538,630	8,404,500	8,378,540	8,504,060
びん類	3,686,050	3,804,100	4,315,090	4,147,900	3,941,410
缶類	1,172,770	1,197,510	1,367,440	1,310,740	1,239,760
ペットボトル	1,593,590	1,666,920	1,917,130	1,946,350	1,892,560
プラスチック製容器包装	1,202,620	1,304,230	1,450,510	1,508,450	1,525,010
乾電池	55,753	62,499	68,247	64,990	62,793
蛍光灯	27,963	27,548	30,204	25,178	23,497
※水銀体温計・水銀血圧計	※体温計157本 血圧計14台	※体温計253台 血圧計22台	※体温計384台 血圧計25台	※体温計395台 血圧計32台	※体温計304台 血圧計22台
回収量	15,240,706	15,601,437	17,553,121	17,382,148	17,189,090

令和5年6月から、「プラスチック製品」の回収を開始(モデル実施)します。  
令和6年4月からは、全域実施を予定しています。

## 2 集団回収

- ①事業目的 資源の有効利用とごみ減量を図るため、区民のリサイクル活動を推進し、地球環境を守る資源循環型社会を目指します。
- ②事業概要 地域の集団回収団体を支援するため、実施団体の登録、相談や指導、用具等の貸し出し、回収業者への協力等を行います。

○事業開始 昭和34年（平成4年7月都より移管）

○実施要件

- ・団体は1グループ10世帯以上
- ・事業系資源は対象外

○支援内容

- ・報奨金の支給（令和3年度より単価引き上げ）  
集団回収団体に対し回収実績に応じて1kgにつき8円を支給。
- ・協力金の支給（R4年度支給団体数：354団体）  
雑がみを回収した団体に対し、1カ月につき1,000円を支給。
- ・回収補助用具の貸出し、消耗品（PPひも・軍手等）支給
- ・優良リサイクル団体等への感謝状の贈呈
- ・ルート対策費の支給  
回収業者に対し、古紙の市況が一定額を下回った場合に支給。
- ・リサイクル活動保険への加入



③実績 ○集集団回収団体による回収量 単位：kg

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
登録団体数	642団体	649団体	643団体	645団体	645団体
新聞	3,471,385	3,107,913	2,521,609	2,466,693	2,316,454
雑誌	1,821,590	1,821,812	1,873,158	1,780,240	1,678,493
雑がみ	70,136	115,673	130,809	133,128	126,170
段ボール	2,364,253	2,480,522	2,887,818	2,855,772	2,798,611
紙パック	20,647	19,463	20,663	21,678	21,396
その他紙類	56,026	44,945	41,137	49,488	85,553
古着	57,753	65,361	41,355	35,045	35,582
アルミ缶	197,842	200,119	211,580	207,553	199,194
スチール缶	15,381	11,940	7,177	6,725	5,927
その他	15,039	11,422	135	60	60
総回収量	8,090,052	7,879,170	7,735,441	7,556,382	7,267,440

※令和4年度は速報値。雑がみは平成30年9月から協力金支給。

※登録団体数「645団体」の内訳…マンション：473、町会・自治会：134、その他：38

# リサイクル・プラスチック回収について

## 3 拠点回収

①事業目的 資源の有効利用とごみ減量を図るため拠点で資源を回収します。(事業開始：平成2年6月【区役所】平成4年11月【学校等】)

### ②事業概要

- ・回収品目 古着、廃食用油、不用園芸土、小型家電
- ・日 時 毎月第2・第4土曜日 午前10時から正午
- ・回収場所 小学校等31ヶ所



1	品川第一地域センター	北品川 3-11-16	17	大井第一小学校	大井 6-1-32
2	台場小学校	東品川 1-8-30	18	大井第三地域センター	西大井 4-1-8
3	浅間台小学校	南品川 6-8-8	19	伊藤小学校	西大井 5-6-8
4	城南第二小学校	東品川 3-4-5	20	後地小学校	小山 2-4-6
5	第三日野小学校	上大崎 1-19-19	21	小山小学校	小山 5-10-6
6	日野学園	東五反田 2-11-1	22	第二延山小学校	旗の台 1-6-1
7	大崎第一地域センター	西五反田 3-6-3	23	京陽小学校	平塚 2-19-20
8	第一日野小学校	西五反田 6-5-32	24	延山小学校	西中延 2-17-5
9	品川区清掃事務所	大崎 1-14-1	25	宮前小学校	戸越 4-5-10
10	芳水小学校	大崎 3-12-22	26	旗台小学校	旗の台 4-7-11
11	三木小学校	西品川 3-16-28	27	大原小学校	戸越 6-17-3
12	立会小学校	東大井 4-15-9	28	豊葉の杜学園	二葉 1-3-40
13	鈴ヶ森小学校	南大井 4-16-2	29	八潮地域センター	八潮 5-10-27
14	大井第二地域センター	大井 2-27-20	30	源氏前小学校	中延 6-2-18
15	伊藤学園	大井 5-1-37	31	小山台小学校	小山台 1-18-24
16	品川区役所	広町 2-1-36			

・回収場所 令和5年

※区施設6カ所(区役所本庁舎2階、品川図書館、総合体育館、戸越体育館、品川区清掃事務所品川庁舎・荏原分室)にて小型家電回収を行っています。

### ③実績

単位：kg

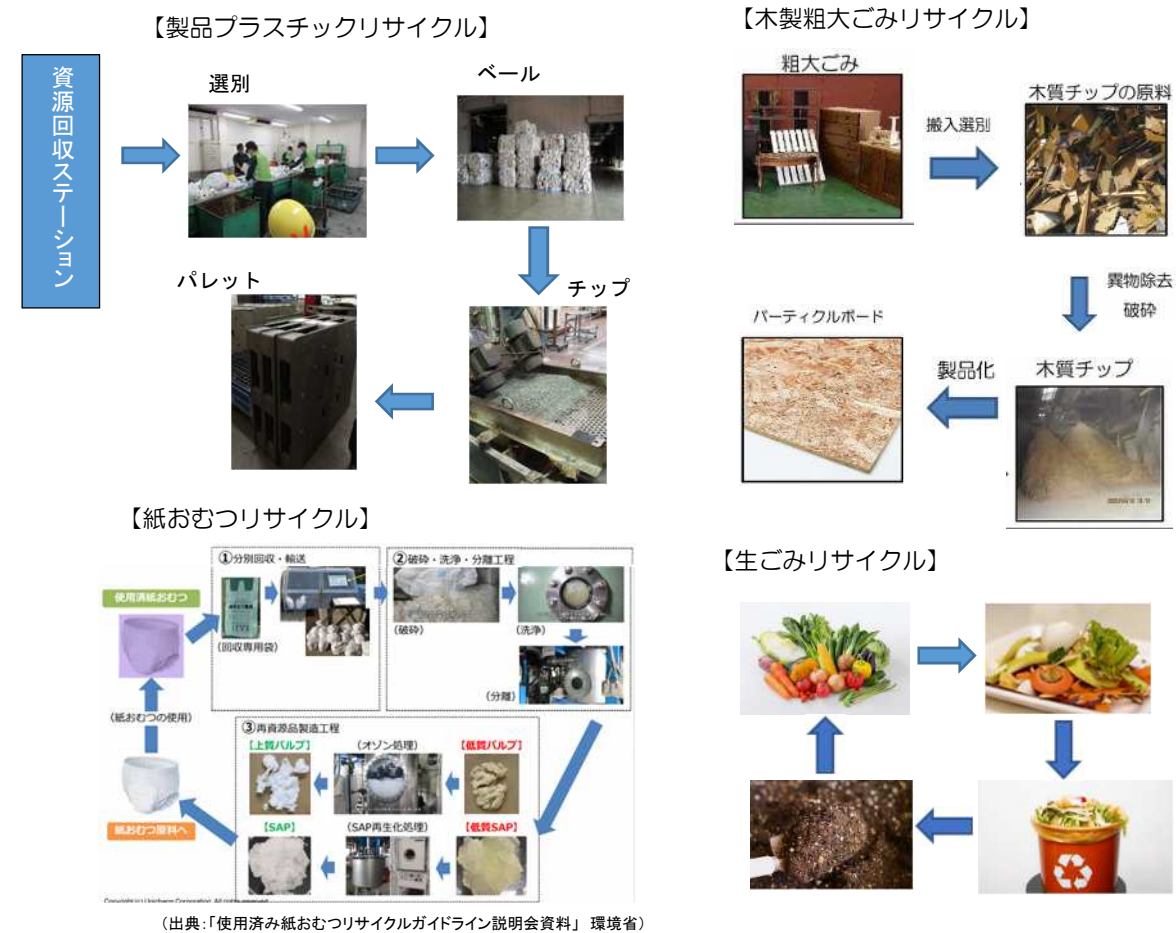
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
古着	122,825	136,990	131,880	146,850	144,180
廃食用油	5,040	5,090	4,602	4,120	3,610
不用園芸土	36,410	34,560	35,055	36,630	40,130
小型家電	3,589	3,813	4,675	5,173	5,821
回収量計	167,864	180,453	176,212	192,773	193,741
拠点数	31カ所	31カ所	31カ所	31カ所	31カ所

## 4 リサイクル品目の拡充

・資源化率の推移



「製品プラスチック」だけではなく、今後、新たな資源として注目されている「木製粗大ごみからのマテリアルリサイクル」や「紙おむつの水平リサイクル」、「生ごみの飼料・堆肥化リサイクル」など、今まで、ごみとして分類され処分されていたものが「資源」に代わる可能性があります。



# リサイクル・プラスチック回収について

## 5 リーフレットの発行

①事業目的 ごみの減量やリサイクルの推進を図ります。

②事業概要

○ごみ・リサイクルカレンダーの発行

ごみと資源の分別方法やごみの減量、環境に優しい暮らしの提案などを載せた「ごみ・リサイクルカレンダー」を作成し地域センター・図書館等にて希望者に配布します。(23,500部印刷)

○「資源・ごみの分け方・出し方」冊子・リーフレット

(日・英・中・韓)

資源とごみやの分け方や出し方をわかりやすく記載した「資源・ごみの分け方・出し方」の冊子を転入手続きの際等に配布しています。なお、プラスチック製品と容器包装の一括回収を令和6年度に全域実施するため、令和5年度中に冊子の改訂と全戸配付を行います。



## 6 不用品交換情報誌、リサイクル

①ごみ・リサイクル通信

・発行部数 13,000部(年4回)

・配布場所 全町会に回覧、廃棄物減量等推進員を通じて区民周知、地域センターや文化センター等区の施設に置き区民に周知しています。

実績 令和4年度7月号・10月号・1月号・4月号

②不用品交換情報紙「くるくる」発行

ごみの減量やリサイクルの推進を図ります。

・発行部数 1,800部(毎月1日発行)

・配布場所 地域センター、図書館、文化センター等区施設、区内各郵便局



実績

単位：件

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
ゆずります	98	182	129	137	135
ゆずってください	28	18	6	5	9

## 7 ごみ・リサイクル出前講座

(1) 子ども向け(環境学習)(事業係)

①事業目的 ごみの減量やリサイクルの推進を図ります。

②事業概要 スケルトン車両等を使った環境学習(平成14年4月開始)

区内小学校、幼稚園、保育園を対象に清掃車のしくみが

分かるように改造した「スケルトン車両」等を活用し、

ごみの積み込み体験やごみ・資源の分別ゲームなどを行い、幼少期から環境に対する意識を啓発します。

③実績

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
幼稚園・保育園(園)	36	36	11	16	22
小学校(校)	11	8	1	0	4

(2) 大人向け(リサイクル推進係)

①事業目的 ごみの減量やリサイクルの推進を図ります。

②事業概要 区内在住の町会・自治会・PTAその他のグループを対象にした出前講座をテーマにそって実施します。

テーマ(例)

・資源のゆくえ(資源として回収された物がどのようにリサイクルされるのか)

・品川区のリサイクル活動(品川区実施のリサイクル事業の説明)

・ごみ減量の合言葉『3R(スリーアール)』について

・ごみ・資源の分け方・出し方

③実績

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
実施回数	7回	3回	1回	1回	4回
参加者数	290人	101人	100人	150人	182人



# リサイクル・プラスチック回収について

災害・環境対策特別委員会資料  
令和5年11月30日  
品川区清掃事務所

## 8 ごみ・資源追っかけ隊

- ①事業目的 区民が日ごろ排出しているごみや資源が回収された後どのように処理されているかを区民自らが追っかけ、取材することで、適正排出の促進・リサイクルの理解を深め、ごみの減量・リサイクルの推進を図ります。
- ②事業概要 区で回収しているごみ・資源の処理工場等（プラスチック製容器包装・ペットボトル・びん・缶・紙類・ごみなど）を見学するバス見学会を実施。（区民参加を年4回程度開催）
- ③実績

年度	回	見学先	実施日	参加者数
平成元年（2から4年まではコロナ禍により中止）	1	・東日本環境アクセス （プラスチック中間処理施設） ・エム・エム・プラスチック(株) 富津 プラスチック資源化工場 （プラスチック再生業者）	7月29日（月）	26名（10グループ） 大人10名 子供16名
	2	・資源化センター ・レンゴー八潮工場 （段ボール再生業者）	8月9日（金）	30名（13グループ） 大人14名 子供16名
	3	・資源化センター ・ユニバーサル製缶(株)結城工場 （アルミ缶再生業者）	8月28日（水）	33名 （14グループ） 大人15名 子供18名
	4	・丸富製紙(株)沼津工場 （牛乳パック再生業者）	3月26日（木）	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止



## 9 プラスチック製品回収

- ①事業目的 令和4年4月プラスチック資源循環促進法が施行され、新たに製品プラスチックを回収することが自治体の努力義務となった。これに伴い令和5年6月から一部地域においてモデル回収を開始し、令和6年4月からは区内全域で実施する。
- ②事業概要 製品プラスチックをリサイクルする。プラスチックハンガー、CDケース、歯ブラシなど今まで可燃ごみとして回収していた製品プラスチックを容器包装プラスチックと同じ袋に入れて出してもらう。

③予測回収量 約400t/年

### ④実施地域

- 6月 八潮
- 10月 北品川1～3丁目、東品川1～5丁目、広町1・2丁目  
南品川1～6丁目、東大井1～6丁目、西品川1丁目
- 1月 大崎1～5丁目、勝島1～3丁目、上大崎1丁目、北品川4～6丁目、  
西五反田1丁目、東五反田1～5丁目、大井1・2・4・6丁目、  
南大井1～6丁目、東大井6丁目の一部、中延1～6丁目、  
西中延1～3丁目、東中延1・2丁目、平塚1～3丁目、旗の台2～5丁目
- 4月 全域

**製品プラスチックのモデル回収を始めます**

燃やすごみに出していた**製品プラスチック**が**資源**になります。

**製品プラスチックは どうやって出すの？**

プラスチック（プラスチック製容器包装・製品プラスチック）はすべて一緒に、一つの袋に入れて、毎週、決められた曜日・場所（今までと同じ）にお出ください。

ペットボトルは従来の回収方法です。

これから始まる**製品プラスチック**

プラスチック製容器包装

プラスチック製おもちゃなど

プラスチック製くし、歯ブラシなど

CD、DVDケースなど

プラスチック以外の素材が簡単に取り外せるものはプラスチックのみにお出ください。

回収できないもの

破くすすいでも汚れるもの

電卓・電卓式（乾電池・ニッケル水素電池）付のプラスチック製製品

30cmを超えるプラスチック製品

刃物など刃が付いているプラスチック製品

火の危険がある使い捨てライター

中身がわかる袋に入れてお出しください

自宅清掃などで使用した注射器やプラスチック製器具

プラスチック以外の素材が簡単に取り外せるものはプラスチックのみにお出ください。

今まで「燃やすごみ（プラマークなしのプラスチック）」だったものも、「製品プラスチック」ならば資源に変わります。

プラスチック製のボールペン・クリアファイルなどの文房具

プラスチック製保存容器、ハンガー、ざる、食器、弁当箱など

プラスチック製おもちゃなど

プラスチック製のストロー・フォーク・スプーンなど

プラスチック製くし、歯ブラシなど

CD、DVDケースなど

詳しい品目はHPでも紹介しています。

★プラスチック以外の素材が簡単に取り外せるものは、プラスチックのみにお出ください。

**回収できないもの**

破くすすいでも汚れるもの

電卓・電卓式（乾電池・ニッケル水素電池）付のプラスチック製製品

30cmを超えるプラスチック製品

刃物など刃が付いているプラスチック製品

火の危険がある使い捨てライター

中身がわかる袋に入れてお出しください

自宅清掃などで使用した注射器やプラスチック製器具

プラスチック以外の素材が簡単に取り外せるものは、プラスチックのみにお出ください。

# リサイクル・プラスチック回収について

災害・環境対策特別委員会資料  
令和5年11月30日  
品川区清掃事務所

令和5年度 資源処理フロー図



## 1. 目的

食品ロスに対する認知度向上や幅広い世代に対し食品を大切に扱う意識の醸成を図ることを目的に、「SHINAGAWA “もったいない” プロジェクト」として、各種事業を展開している。

## 2. 主な取組み

### (1) フードドライブ

内容：フードドライブ常設受付を開始（開始日：令和5年6月1日）  
受付窓口：環境課・環境学習交流施設エコルとごし

※食品は社会福祉協議会を通じて、子ども食堂の運営に役立っている。

実績：

総数	3,761点
総重量	1,398.4kg

※6月～10月受付分 ※2施設合計

その他：11月1日～30日 イトーヨーカドー大井町店でフードドライブを実施



### (3) SHINAGAWA “もったいない” 推進店

区内の飲食店等を対象に、小盛対応や食品ロス削減のPR活動等の食品ロス削減に取り組んでいる店舗を「SHINAGAWA “もったいない” 推進店」として登録し、ステッカーを配布するとともにホームページ等で紹介。

登録店舗数：163店 ※10月時点



### (4) オイシックス・ラ・大地株式会社・青稜中学校との産学官連携事業

オイシックス・ラ・大地株式会社と共催で、青稜中学校SDGsゼミナールにて、「Oisix × 次世代 “これからの食” 学び場プロジェクト」として特別授業を実施。  
内容：①食品ロスの現状の学習・品川区の取組み紹介  
②わかめ昆布漁師・白エビ加工会社の方から「海の食品ロス」の課題を聴講  
③学生による2種の食品ロス食材「穴あきわかめ」「白エビの殻」を活用したどんぶりメニューを考案  
10種の考案メニューから、投票により優勝メニュー2種を決定  
→優勝メニューは「サステナブルイベントinとごし」、「品川区役所（10月23日～25日）」で販売



### (2) サステナブルイベントinとごし～食とフリマでもったいないを考えよう～ 開催

開催日時：10月22日（日）午前10時～午後3時  
会場：戸越公園・環境学習交流施設エコルとごし・文庫の森  
目的：食品ロス削減月間である10月に楽しみながら食品ロス・リサイクルについて考え、環境意識向上につなげることにより、持続可能な社会の実現を目指すイベントとして開催

来場者数：3,000人

内容：【戸越公園】  
SHINAGAWA “もったいない推進店” 等による飲食出店  
各店舗の食品ロス削減アイデアも合わせて紹介  
※使い捨てプラスチック削減のため、  
飲食はリユース食器・環境配慮型容器で提供

【環境学習交流施設エコルとごし】  
野菜を使用したクイズ・ワークショップ

【文庫の森】  
フリーマーケット（品川区清掃事務所主催）



区役所での販売

「サステナブルイベントinとごし」での出店

優勝メニュー  
「肉巻きWAKAMEのスタミナ丼」  
「とまらない！えび出汁リゾット」